

基本ルール

- ①喰いタンあり、後付けあり、ピンフツモありの二翻20符扱い。(通称アリアリルール)
- ②東南の半荘戦、30000点持ち。(赤一万点棒二本は箱割れ時に使用)
満貫以上出た場合は、アガリ者はその旨を申告しその都度責任者が記録用紙に記載のこと。
半荘終了後、点数(ポイント)は30000点返して100点を 0.1ポイントに換算して各自申告し、
責任者は±で記録用紙に記載します。
- ③一半荘の時間制限を70分とします。3分未満となった場合は強制終了とします。
- ④箱割れとなっても局は継続します。不足分は赤一万点棒による支払いとなります。
- ⑤形式テンパイあり。カラテン(流局時待ち牌がない)も可。但し自分で四枚全使用の場合は不可。
- ⑥順位点に関しては終了後成績表にて付加します。同点の場合は折半とします。
一位30P 二位10P 三位▲10P 四位▲30P
- ⑦テンパイ料は場に3000点、積み棒は一本に付きアガリに300点加算。
- ⑧親はテンパイ連荘、オース親のノーテンで半荘終了。(供託はトップ取り)
- ⑨途中流局は一切なし。(九種倒牌、四風子連打、三家和、四開槓、四人立直など)
よって四人リーチは成立とします。
- ⑩アガリの権利は常に一人とします。(二人以上の場合は、放銃者に一番近い順番の者がアガリ)
- ⑪四翻30符(三翻60符)は、切り上げ満貫とします。(翻数には場ゾロ含みません)
- ⑫王牌(ワンパイ)は常に7山14枚とします。
- ⑬嶺上開花と海底撈月(ハイテイツモ)の重複は認められません。
- ⑭ツモ番の無いリーチは認められます。
- ⑮大明槓(ミンカン)の責任払いは廃止とし、ツモ扱いとします。
- ⑯役満の責任払い(パオ)は、大三元・大四喜・四槓子の役満を確定させた場合に発生、アガリ者がツモの場合は全額払い、ロンの場合は半額負担とします。
- ⑰役満の特例は一切なし。(国士無双のアンカンロン、フリテンロンなど)
- ⑱ローカルルールは一切採用しません。(役としての人和、流し満貫、十三不塔、大車輪、百万石、三連刻、四連刻、槓振りなど、ルールとしての二翻縛り、親の流れ二本場など)
- ⑲チーやポンの喰い替えは一切禁止。行使した場合はアガリ放棄となります。
- ⑳フリテンリーチは認められます。(リーチ後のアガリ選択も可能ですが、ツモアガリのみとなります)
- ㉑一発役、裏ドラ、カンドラ、カン裏ドラあり。赤牌は採用しません。
- ㉒アンカン・ミンカン問わず、カン成立時点でカンドラを即公開するものとします。
但し、チャンカン成立の場合カンドラの権利は消滅となります。
- ㉓ツモ行為は、ツモ牌に触れた時点で成立となります。触れた後の副露(チー、ポン、カン)の行為は禁止となります。行使した場合はアガリ放棄となります。
- ㉔捨て牌は河(ホー)に接地した時点で成立となります。接地以後は、捨て牌の入替え若しくは副露(チー、ポン、カン)行為は禁止となります。行使した場合はアガリ放棄となります。
- ㉕発声遅延による副露(チー、ポン、カン)の成立の定義は、次家のツモ牌が手牌につく迄とします。
- ㉖下記四つのリーチ後のカンは不正な暗槓行為として発覚次第チョンボの扱いとなります。
❶待ち牌が変わる❷待ちの種類が変わる❸面子構成が変わる❹役の増減
- ㉗アガリとチョンボの同時発生はアガリ優先。(チョンボは無罪放免)
- ㉘純粹に重複したダブル役満及びトリプル役満は適用しません。

ペナルティ

1. アガリ放棄

- ①副露(チー、ポン、カン)の誤発声
- ②誤リーチの発声及びリーチ棒提供の行為
- 〈①②について通常は1000点罰符対象の行為ですが、当該サークルは採用していません〉
- ③副露(チー、ポン、カン)の誤った牌さらし行為
- ④誤ロン、誤ツモの誤発声
- ⑤喰い替えの発生
- ⑥先ツモ行為の発声
- ⑦少牌及び多牌
- ⑧ツモ行為または捨て牌成立と見なした後の副露(チー、ポン、カン)の行使
- ⑨ツモ牌を手牌の中に入れる行為が度重なる場合
- ⑩リーチ後の面子構成を変更させた場合
- ※アガリ放棄となった者は、副露(チー、ポン、カン)の行為は一切できません。

2. チョンボ

- ①流局後ノーテンリーチが判明した場合
- ②誤ロン、誤ツモを以て手牌を倒牌し公開した場合
- 〈役なし・フリテン・ノーテンでのアガリ宣言、待ち牌以外の牌でのアガリ宣言などによる倒牌〉
- ③リーチ後の不正なアンカン行為が発覚した場合
- ④正当にアガリ宣言した者が他の者による確認を受けずに手牌を崩し役の内容を不明にした、または点数申告確認が不能となった場合
- ⑤牌山や手牌を崩し原状回復を困難にした場合
- ⑥局の続行を不可能にした場合

錯和(チョンボ)を犯した者は、各家のポイントに影響を及ぼさない措置とするために、点数記録用紙に錯和回数が記録され、東南戦半荘が終了し各家の順位確定後に錯和(チョンボ)を犯した者の総ポイント数に一回につき▲10P 付与するものとします。

錯和(チョンボ)が発生した局はノーゲームとなりますので、荘家(親)の権利移動はなく、立直(リーチ)棒は元へ戻し、積み棒も新たに増えません。